

「さわやか西中 誰からも愛され、応援される生徒を目指して」

平成27年度 柳津町立西山中学校

# 学校だより

平成28年1月 7日(木)発行 第 36 号

## 明けましておめでとうございます

今年も申年。サル目ヒト科の仲間であるヒトとチンパンジーの遺伝子の違いは、わずか1・2%ほど。わたしたちは、ほとんど同じ生命の設計図を持っています。では何が人を人たらしめているのか。

ある本には次のようなことが書かれています。

あるチンパンジーが病気で首から下が麻痺し、骨が露わになるほどの床ずれを起こした。人間ならば絶望感にさいなまれる苦境なのに、このチンパンジーにはめげた様子がない。チンパンジーはただただ今を生きるから、明日のことを思い煩って、絶望することがない。ひるがえって人間は将来を思い、容易に絶望する。しかし絶望する能力と同じ力、未来を想像する力があるからこそ、希望も持てる。「人間とは何か。それは想像する力。希望をもてるのが人間」なのだ。



想像の「想」の字の意味を探ってみると、相は繁った木を見ることで生命力を盛んにする儀礼で、それを他の人にも及ぼすのが「想」とあります。木を見て命の躍動を感じ、分け合おうとおもう力、想像力。それを大切にしたい2016年のはじめです

楽しいことができる1年をともに迎えることができたことをうれしく思います。今年もよろしくお祈りします。

## レベルが高い大会でした

### 子ども「ふるさと福島」魅力発掘コンテストプレゼン大会

平成27年度子ども「ふるさと福島」魅力発掘コンテストプレゼン大会が12月25日、郡山市文化センターで開催され、昨年4月から全校生で取り組んできた魅力発掘の成果を全校生16名で発表してきました。

原発事故で風評被害が深刻になっている福島県の魅力を再発見し、全国に向けて発信することをねらいとしてはじめられたこの大会も今年度で3





回目。参加したどの学校も、過去の取り組みを参考によく練られたプランが発表され、大変レベルの高い大会になりました。

残念ながら2年連続の優秀賞は逃しましたが、柳津町のよさを発掘し、また創造しようとした西山中学校の取り組みは、優秀賞の学校に引けをとるものではなかったことを報告します。



**前日は全員でクリスマスパーティーをしました！**

### 第3学期始業式式辞

明けましておめでとうございます。今日、ここに16日間の冬休みが無事に終了し、全員が登校できたことを、とても嬉しく思います。



さて、年の初めにあたり、先日の読売新聞に載っていた話を紹介します。「ラクダが砂漠に住めてキリンが住めないのはなぜだろう…？」という話です。少し考えてみましょうか…。

キリンが砂漠に住めない訳は…？ 登場人物は語ります。「背が高すぎるんです」

つまり キリンには見渡すかぎりの砂漠が一目瞭然と見えてしまいドコまで行っても砂ばかりであることを悟ってしまう。でもラクダにはそれが見えないのでオアシスややしの木の存在の希望を抱いて前に進んでいける…と。

私たち人間は、苦しくなってくると「こんな事をやっても何にもならない」「どうせ〇〇にしかならない。」と物事を後ろ向きに考えるようになります。でも考えてみればどんなに広い砂漠でも無限ではありません。ラクダのように、「もう少し頑張れば緑のオアシスが待っている」と希望を持ち、一步一步目の前を見ながら確実に歩みを進めることが大切なのかも、とこの話を読んで考えました。「希望を持つこと」と「目の前の目標をクリアすること」ですね。

ところで、この小さな目標をクリアするためのツールを皆さんも持っているのを自覚していますか。皆さんが使っている生活ノートがそれです。

一日が終わったら、その日の自分の行動をチェックし、明日の目標を確認する、あるいは自分の家庭での学習を決める項目もあったはずで。

実は、このノートを有効に活用することが自分を高めることにつながります。オリンピックの金メダリストや、企業経営者、成功者は必ずこのような日誌を書いています。

日誌を書くということは、目標を細かく分け、小さな目標を達成する成功体験を積み重ねながら、最終目標に近づいていくということです。毎日の日誌で、「今日は何ができたか、何ができなかったか」という確認作業を、自分に対して正直に行い、「明日から何をやるか、明日は何をやり返るか」という具体的な目標を設定するのです。

第三学期は一年間のまとめをし、次の年度への心構えや目標を立てる学期です。登校する日数は、三年生が44日、一・二年生は51日しかありません。長い期間は根気が続かないかも知れません。でも50日程度なら何とかありますよね。

短い三学期です。一日一日を大切に、生活ノートをもとに、小さな一歩でもその日に前進したことを振り返り、自覚することが大切です。そして平成27年度の最終日に、「何々を成し遂げた、これだけやった！」と、ことばにできることを一つでも多く実践しましょう。自分の将来を見据えて目標に少しずつ近づくことができるよう努力してください。努力は嘘をつきません。三月のゴールへ向けて、力を合わせてみんなで頑張る事を期待して式辞とします。

平成28年1月7日